

## 秋の旅行会「小樽・貴賓館（旧青山別邸）と総合博物館（旧交通記念館）の旅」

11月11日（日）に本年度の秋の旅行会＜小樽・貴賓館（旧青山別邸）と総合博物館（旧交通記念館）の旅＞を、会員、ご家族を含む15名の参加で実施しました。奥様方を交え、楽しい1日を過ごすことができました。

当初は本年度の旅行会として、ローカル線を利用した日高方面の日帰り旅行を考えていたところ、9月6日に発生した胆振東部地震の影響により日高線苫小牧～鵜川間が不通となり旅行会の実施を見合わせていましたが、例年ご参加いただいている方々からの後押しもあり、今年は手近な小樽で、美味しいお食事と鉄道の歴史を楽しむ企画を実施することとしました。

11時という多少遅めの時間に小樽駅隣の中央バスの待合室に現地集合しました。この時期、この時間でも大勢のインバウンド観光客が降りてきて、ちょっとビックリしました。さすがに路線バスに乗り替えるのはごく少数で、私達一同は1日乗車券を各自片手にして、一路、小樽貴賓館（旧青山別邸）に向かいました。青山家は明治・大正を通じて鯨漁で巨万の富を築きあげた網元で、大正6年から6年半の歳月をかけて建てた別荘が旧青山別邸です。高台から小樽湾を一望し、「北の美術豪邸」と称される往時の贅を尽くした建物を見学し、鯨に沸いた当時の小樽の繁栄に想いを馳せました。昼食会は、貴賓館で名物「にしんお重」を時間の過ぎるのも忘れて美味しく頂戴し、恒例の参加メンバー自己紹介が行われ、懇親を深めました。



小樽・貴賓館（旧青山別邸）

その後、貴賓館前から路線バスに乗って手宮の総合博物館に向かいました。ここ手宮は北海道鉄道発祥の地であり、国鉄時代に鉄道記念館として設立されJR移行後に第3

セクター小樽交通記念館として運営されていましたが、平成 19 年に青少年科学館の機能を統合し、小樽市総合博物館としてリニューアルした施設です。入館すると目の前に S L「しずか」号が展示されており、ボランティアの説明員の方に丁寧に施設をご案内いただきました。その後、運河館に移動し、北前船の歴史などにも触れつつ、小雨交じりの晩秋の小樽で、会員・家族の懇親を深める良い一日を過ごすことができました。ご参加いただいた会員、ご家族の皆様に感謝します。



総合博物館（旧交通記念館）

（文責・小山）